

報道関係 各位

※お手数ですが、ご担当の方にお渡しください。

2013年7月31日

大学創立者出身地の鯖江市で政策提言 明治大学生が“さばえ活性化プロジェクト”に挑戦 — 一計6日間の現地調査・取材を経て、成果報告 —

明治大学（東京都千代田区）は地域連携プログラムの一環として、8月初旬と下旬の計6日間、福井県鯖江市に学生15名を派遣します。学生たちは、「鯖江ブランド創造プロジェクト～交流人口の増加に向けて」をテーマに、①観光、②食、③若者向けさばえブランド、④地域住民主体のまちづくりをキーワードとして、現地調査および現地でのフィールドワークを実施。さらに、地域住民・行政・関係団体の方々と熟議形式*で課題を絞り込み、現地調査・取材を経て、成果報告（政策提言）します。

鯖江市は明治大学創立者の一人である矢代操の出身地。本学と鯖江市は2011年11月に連携協定を締結しました。この協定に基づき、今年7月には明治大学の駿河台キャンパス（東京・御茶ノ水）で「ふるさと鯖江 食のフェア」を開催するなど様々な連携活動を行っています。



矢代操（鯖江藩出身）

■鯖江市での活動日程

◇事前調査

8月5日（月） 鯖江市内視察、関係者への取材、グループワーク

8月6日（火） 熟議（課題や問題点の洗い出し）

◇現地調査

8月26日（月） オリエンテーション、グループワーク

8月27日（火） 現地調査・取材

8月28日（水） 現地調査・取材

8月29日（木） 9時30分～ 中間成果発表

（鯖江市役所多目的ホールにて）



学生と地域住民らが一体となり「熟議」形式で議論（昨年度の様子）

* 熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。明治大学では2012年3月、文部科学省との共催による「地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議『熟議2012 in 明治大学』」を開催した。

◇本件お問い合わせ

明治大学 経営企画部広報課

担当：澤内

電話：03-3296-4082